

世界一の蜂巢，富士山をつくって

塩澤 義国

ハチの芸術館「蜂天国」をなぜ作ったのか

私とハチの出会いは小学生の頃、地バチ採りの名人と言われた叔父に連れられ、実際に地バチ採りを経験したことから始まる。海のない信州では、昔からハチの子は貴重なタンパク質源、滋養食品として重要視されてきた。以前、キロスズメバチが野菜の集合倉庫の一番高い場所に巣をつくり、仕事をするのに危険で困るということで採ることになった。地バチ採り用の煙幕を何本も使って巣を採ってみた。すると落下した巣の出入口の穴に、死んでいる門番バチがしっかりとしがみつき、巣を守ろうとしている姿をみた。ハチはどんな状況下においても与えられた任務を死んでもまっとうするということに痛く感動した。

スズメバチの仲間は、クロスズメバチ（地バチ）、オオスズメバチ（世界最大）、キロスズメバチなど多種にわたるが、いずれも巨大な我が家を半年ほどでつくる偉大な建築家であると賞賛している。ハチは巣造り、餌取りのために雨の日も風の日も休むことなく働き続ける。この勤勉さと、実直さに頭が下がる思いであり、

ハチは「企業の手本となり」と表現できると思われる。また1994年9月1日に、キロスズメバチの巣の美しさに魅せられて、初めて巣の取り付けを試みた。その後、テーマを決めて巣を完成させていくことを始めたところ、その数が600点にもなり、展示場所が必要になってしまった。一部では攻撃性の高い昆虫として嫌われているが、反面、害虫退治については、人間社会に大きく貢献している益虫である。ハチは最後まで生かし、巣だけを保存しているのだから、ハチにとってまさに天国ではないかと思ひ、ハチの巣の展示場を「蜂天国」と命名した（図1、2）。

スズメバチを飼う

年間300件以上の巣の駆除依頼があり、中にはどうしても殺すしか方法のないものもあるが、生かせるものはできるだけ生かして飼っている。ハチの餌は、主として缶詰のキャットフードで、それに30倍に希釈したハチミツを加え与えている。巣造りに必要な樹皮を展示場の建物周辺に立て掛けておき、ハチが巣造りしやすいようにしている。



図1 蜂巢展示場「蜂天国」



図2 展示場の内部



図3 160巣を合体させて作った富士山

ハチの巣の合体実験

ある学識経験者によれば、一般にハチは縄張り意識が強く、他のハチが接近しただけでお互いが攻撃し合うため、巣の合体は無理であると言われていた。しかし、種類が同一であれば、互いに営巣することを発見した。

1995年に第1号として、4個の巣の合体を試みた。同一種類のキロスズメバチであるため、良好な結果を示し、長さ2mの巨大な巣が完成した。これに自信を得たため、毎年テーマを決めて合体を試みることにした。

テーマごとの巣の合体経緯

1996年、20巣を合体して、高さ6.5mの巣が完成した。

1997年、80巣を合体して太さ4.2m、高さ3mの巣が完成した。

1998年、80巣を合体して横幅2.2m、高さ3mのナイアガラの滝が完成した。

1999年、160巣を合体して、高さ3.776m、裾幅4.8mとなる1000分の1の富士山が完成



図5 60巣を合体させて作ったひょうたん



図4 120巣を合体させて作ったあさま号

した(図3)。このハチの巣の富士山は、ギネスブックに認定された。

2000年、120巣を合体して、長さ8mの新幹線あさま号が完成した。

2001年、120巣を合体して、高さ3.8m、横幅3.5mのスペースシャトルが完成した。

2002年、60巣を合体して、高さ2.5m、太さ3.5mのひょうたんが完成した(図4)。

以上のハチの巣は、すべて「蜂天国」に展示されている。

おわりに

スズメバチの巣を合体させて、いろいろな物をつくってきたが、どこまでやっても終わりが無いのが、ハチと私の共存であると思っている。平成8年8月8日、8並びの日を記念して、ハチの供養塔を建立した。今でも8月8日をハチ記念日として蜂供養会を継続している。

(〒389-0514 長野県小県郡東部町加沢 285-1)

YOSHIKUNI SHIOZAWA. Hornet heaven, the museum of hornet nests. *Honeybee Science* (2003) 24(1): 27-28. 285-1, Kazawa, Tobu-machi, Chiisagata-gun, Nagano Pref., 398-0514 Japan.

The author who is an owner of the private museum so called "Hornet Heaven" which storage and display more than 600 hornet nests including artificially united yellow hornet, *Vespa simillima xanthoptera* nests describes his history with the hornets. One of his works, Mt. Fuji-shaped nest (height 3.776m, width 4.8m: it is just 1/1000 of the real mountain) created with combined 160 nests of yellow hornet has been recognized as Guinness record.